

2017年3度家計分析

- 提出者数** 121名の提出があり提出率は87.7%となりました。前月より7名、前年より29名減の提出状況でした。
- 収入** 期末賞与、家賃地代収入、学資保険の満期金のあった方がありました。また自家営業の方も前年より増えていますので「賞与(夫)」、「自家営業(夫)」、「家賃地代収入」、「その他収入」が前年を上回りました。60代以上の「その他の収入」には個人年金や企業年金が含まれています。総合の「実収入計」は前年比100.1%でした。
- 非消費支出** 確定申告により60代以上で「所得税(夫・妻)」の還付が複数あり、20代から50代の「所得税(夫・妻)」の増加や「健康保険」「生命保険」の年払いにも関わらず「非消費支出計」は前年比96.6%となりました。
- 消費支出** 総合の1位は「食費」、2位は「自動車関係費」、3位は「社会保険計」でした。
- 「自動車関係費」は車検、任意保険の支払いもありましたが、50代と60代以上で購入に伴う費用を計上された方があったためです。50代、60代以上の「その他」のランクインは結婚費用や葬儀費用によるものです。「教育費」は幼稚園の費用、通信教育の教材費、中学校や高校の制服代などの入学費用、大学の入学費用、授業料、自動車教習所などです。お孫さんへのお祝いは「交際費」として計上されています。40代の「住居費その他」は家電購入、害虫駆除費用などによるものです。
- 総合の1位は「食費計」でしたが、前年比は94.3%でどの年代も平均で7万円に満たない支出でした。外出先での食事が「教養娯楽費」や「交際費」として計上されたのでしょうか？食費の節約傾向が今後も続くのか興味深いところです。

ランキング

	総合	20代~30代	40代	50代	60代以上	年金世帯
1	食費 64,921	社保 61,599	教育 75,728	自動車 112,113	食費 64,632	食費 62,811
2	自動車 59,637	家地 54,644	社保 68,549	社保 84,456	自動車 46,720	自動車 52,406
3	社保 56,999	教育 53,680	食費 65,355	その他 77,028	社保 38,665	その他 35,153
4	その他 37,700	食費 46,578	家地 41,094	教育 74,399	教娯 31,699	社保 34,006
5	教育 35,426	私保 39,701	住他 40,097	食費 69,567	その他 30,750	教娯 31,892
6	私保 32,423	職主 37,641	税金 36,496	私保 58,841	交際 28,870	交際 30,924
7	職主 31,614	税金 33,653	職主 29,391	税金 58,666	水光熱 24,734	水光熱 24,926

税金：税金計、社保：社会保険計、私保：私的保険計、家地：家賃地代、
住他：住居費その他、水光熱：水道光熱費、教娯：教養娯楽費、職主：職業主婦費